

平成29年度 協働事業 審査結果

順位	事業名	団体名 担当課名	採択の 適否	負担金額 (円)	付帯意見又は理由
1	地域連携自主防災事業	栗ヶ沢中学校地域 防災委員会  危機管理課	適	500,000	-
2	協働のまちづくり啓発 事業	特定非営利活動法 人まつどNPO協議 会  市民自治課	適	179,100	<p><b>【付帯意見】</b>  賞金制度の導入には、誰もが納得する選定基準を設定する等の仕組みが必要であり、また賞金を一度きりにしてしまうと不公平になることから、協働事業負担金終了後も継続することが望ましいため、市民活動表彰においては、賞金よりも賞状の交付と広報面の支援が適当と思料する。  事業の目標を市民60人としているが、講演会の効果を高めるために、より多くの市民へ周知し、機会を提供してほしい。</p>

3	子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会 生涯学習推進課 青少年会館	適	122,200	<p>【付帯意見】 高校生・大学生を対象に開催する担い手育成講座に期待する。子どもたちにとって少し年上の人と関わることは新鮮で楽しい体験となり、また高校生、大学生にとっては地域コミュニティを体験する場となり、相互にとって良い取り組みである。ゆえに、高校生、大学生が継続的に関われる仕組みを平行して構築してほしい。</p>
4	地域ねこ活動推進事業	まつど地域ねこ会 環境保全課	適	225,000	<p>【付帯意見】 外部講師を招いてのセミナーのほか、担当課によるパートナー講座も活用するなど、複数の周知方法を組み合わせることでより市民の理解が深まると思料する。</p>
-	生物多様性地域戦略事業	緑のネットワーク・まつど 環境政策課	否	468,000	<p>【不採択理由】 地域戦略の策定にあたっては、まず市が策定に取り組み、策定後に関係団体と連携、協働をすべきであると思料され、また、なぜ戦略を策定する必要があるのかが不明確であるため。</p> <p>【付帯意見】 提案団体は里山活動ネットワークという強みを持っていることから、そのつながりを生かし、千葉大学と協働しながら、市民目線で気づいた地域戦略に係る課題を共有し、提示をすれば、より良い提案になると思料する。</p>